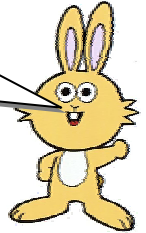


<Vol.102の記事>

ご挨拶 戸苅晴彦新理事長から

報告 文部科学省放課後対策モデル事業に選定！



### 新理事長からのご挨拶

#### ● 倉持理事長退任のお知らせと

#### 新理事長就任のご挨拶 戸苅晴彦

浦和スポーツクラブは1991年の創立ですから、来年で20周年を迎えることとなります。倉持守三郎理事長は発足以来の長きにわたり浦スポの代表としてクラブを支えてきて下さいました。思えば、浦和にプロサッカーチームを誘致しようという有志の集まり(1990)により激論を交わしながら誕生したのが「浦和プロサッカー球団をつくる会(1990)」と「浦和スポーツクラブ(1991)」でした。

しかし、浦スポの運営は必ずしも順風満帆とは言えず、浦和レッズとの関係解消(1996)、指導者やグラウンドの確保の問題と財政危機、そして公共自主運営組織化(2000)など紆余曲折がありました。その間に事務所も与野駅近辺から浦高通りへと変わり、現在のクラブハウスと3回の移転がありました。

この間、倉持理事長はクラブの活動方針が当初はサッカーだけの単一種目型の様相が強かったものを多項目多世代型の文部科学省が推奨している「総合型地域スポーツクラブ」へと変革させ、しかも非営利特定活動法人(NPO法人:2004)を取得して社会的にも認知されたクラブへと前進する中で、常に会員の中心として事業を成し遂げてこられました。もちろんそのサポート役として地元浦和の財政界などに地盤のある塩野潔副理事長や、クラブの活動の中心的存在であるサッカー生涯コースをとりまとめてこられた池森俊文元副理事長などを始めとした理事会スタッフの存在も大きなものであったと思います。このようなクラブ会員の存在も倉持理事長の見識とお人柄の所以であったものと確信しています。

このような長い間の倉持守三郎理事長のご活躍とご苦労に対し、クラブ会員一同に代わり紙面をおかりして感謝と御礼の意を表したいと思います。

今般、倉持理事長からご自身の体調不良などを理由に理事長役を退きたいとお申出が理事会にございま

した。この意を受けて理事会で検討したところ、創設時から活動を共にしてまいりましたことと、年功序列的な発想からか新理事長の役に囚らずも私が推挙されました。

浦和スポーツクラブ20年間の曲折についての経験からその動向を多少知っている程度の立場ですが、発足から中心としてやってきた塩野副理事長、クラブの経営的にも危機感のあった時期からNPO法人取得など活動の中心的役割を果たしてきた小野崎研郎副理事長、また新しい感覚でクラブに新風を吹き込んで下さっている萩原紀男副理事長を始めとした理事の方々の支えを得ながら次の年代にまでバトンを渡す役割を果たすことにいたしました。

私の元来の仕事はスポーツ科学をベースに日本サッカーの発展に尽くすことでした。併せてスポーツ生理学やスポーツトレーニングの理論をもとに発育期の子どもから高齢者までのヒトの体力の開発に関することもライフワークとしてまいりました。このような専門分野で培ったパワーをもとに、浦スポが地域に根ざしたスポーツクラブとして老若男女がそれぞれの好みに応じて楽しく活動ができるような仕組みを提供することに少しでも役立てればと考えております。必ずしも適役とは思いませんが、お引き受けすることにした以上は誠意を尽くす所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

2009.7.20

### クラブフェスタに参加しよう！

埼玉県内のいろいろなスポーツクラブと交流したり、新しいスポーツを体験したりしてみませんか！

日時 10月17日(土)10時~15時半  
会場 県立武道館とスポーツ研修センター  
(上尾市内)

参加 無料

種目 テニス、バドミントン、子どもフットサル、ミニバスケット、キンボール、バレーボール、他

- 問い合わせ申込みはクラブ事務局まで！ -

## 文部科学省モデル事業に採択！

### 地域クラブで効果的な体力向上を！

文部科学省では、放課後子ども教室など、子ども達の放課後対策の充実をはかるため、平成19年度から「総合的な放課後対策推進のための調査研究」を実施しています。浦スポでは平成国際大学スポーツ科学研究所やふぁいぶるクラブ白鶴(岩槻)、鴻巣プレス(鴻巣市)等と実行委員会を組織し、埼玉県との連携のもと「バランスの良い体力向上につながる放課後プログラムの実証」をテーマとした調査企画を提案しました。

先日、文部科学省から選定の知らせを受けました。今回、特に取り組むことにしたのは子ども達の投げる力の向上です。先日公表された子どもの体力テストの結果、埼玉県は投げる力が全国平均よりも大きく劣り、その中でもさいたま市は特に低いことがわかりました。



投げる力が弱いのは、肩や腰を大きく回し、体重移動をしながら、腕をタイミングよく振るような運動を、子ども達が生かすことが原因として考えられます。こういった運動がうまくできないことは、野球やソフトボールだけでなく、バレーボールやハンドボール、バドミントン、テニスなど多くのスポーツ種目にも影響することです。もちろんサッカーでも、スローインが遠くに投げられないなどの問題が出ています。

クラブでは、子ども達のバランスの良い運動能力の向上が必要であると考え、サッカー広場などの中でも、これらのプログラムに取り組んでいくことにしました。

1年後、浦スポでの取り組みの成果がどのようにでてるか、大いに楽しみにしていきたいと思えます。

保護者の皆様も、子ども達のバランスの良い体力・運動能力の向上への取組みに、ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、この調査研究は、平成国際大学松本光弘教授(スポーツ科学研究所長)、西川誠太講師(同研究所員)、仙石泰雄講師(同)の全面的な協力を得て実施できることとなりました。これを機に、大学と地域スポーツクラブの連携がさらに進み、双方の活動の発展につながることも期待していきたいと考えています。

### 星空スポーツ広場 大盛況！

#### 中学生以上有料化へのご理解を！

冬に少なくなった参加者が、再び増加し、どの種目にもぎわっています。



さて、星空スポーツ広場は、これまで1年間参加費無料としてきました。用具代や照明代、指導者の方々の謝金などは、totoの助成金でまかなってきました。

今後、totoの助成金が無くなって継続していくためにクラブ全体で支えていく場としていきたいと考えています。そのためには、現在参加されている方々からも会費をいただいくことが必要と考えました。

将来的には、月会費や年会費の制度を取り入れていきたいと考えていますが、当面の方法として、**中学生以上の方1回1家族200円**とすることとしました(夫婦参加や、兄弟参加は、誰か1人が200円でけっこうです)。受付時にお支払いください。小学生以下の参加は、これまでとおり無料とします。

星空スポーツ広場は、家族や友人と、そして一人で来られても気軽にスポーツを楽しめる場として、参加者のみなさんとともに作り上げていく場です。皆様のご理解をお願いいたします。

【お詫び:総合型地域スポーツクラブに関する連載は、今回はお休みします。】



### 浦和スポーツ塾開催！

指導者、保護者必聴！

いざという時に、あわてない、後悔しないように、応急対応を身に着けよう！

「熱中症対策・AED・落雷対策など  
スポーツ現場における緊急対応について」

講師 塩野潔(日本サッカー協会医事委員)

日時 8月2日(日)14時~15時半

会場 浦和高校同窓会館

参加 無料



2009年度も、浦和スポーツクラブでは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。